

Twitter 利用者の特性についての探索的研究

広島大学総合科学部 行動科学プログラム 西畑岳海
広島大学大学院 総合科学部研究科 教授 坂田桐子
助教 清水裕士

「Twitter 利用についての探索的研究」にご協力いただき、誠にありがとうございました。以下に本研究の結果の一部を簡単にまとめました。

1. 本研究の目的

- ・日本では **Twitter** の利用が盛ん
 - ・**Facebook** では実名利用でより実益的な社会的つながりであるのに対し、**Twitter** は趣味や暇つぶしに依った利用が多いと考えられる
- ⇒これらのことから、日本における **Twitter** 利用研究の端緒として、**Twitter** 利用者の特性を明らかにすることは、意義があるものと考えられます。

目的：日本で Twitter をよく利用するユーザーの特性を探索的に検討する

2. 本研究で取り上げた個人特性について

- i 共有欲求
自分の興味・関心のあることを他者と共有したい程度を表す。
- ii 賞賛獲得欲求・拒否回避欲求
他者からプラスの評価を受けたい程度、およびマイナスの評価を避けたい程度を表す。
- iii 一般的信頼
見知らぬ他者を信頼できる程度を表す。

3. 調査実施時期及び調査参加者数

1月21日から23日までの2日間で実施。Web調査のリンクをクリックした人295名のうち、最後まで不備なく回答した178人の結果を分析しました。

4. 結果概要

- i 拒否回避欲求が高い人ほどよく **Twitter** を利用している (表 1)
表 1 は一般化ポアソン回帰分析の結果を示しています。拒否回帰欲求のみが **Twitter** 利用を予測していることがわかります。なお、**Twitter** 利用は、**Twitter** の利用頻度、利用時間、ツイート数を合成した変数です。
…SNS において **Twitter** は、日頃のツイートに関して返事の必要がなく、またリムーブやブロックといった行動もそこまで起こらないものであると考えられるため、拒否があまり起こらない SNS であるからだと考えられます。

表1 Twitter利用の各説明変数の標準化係数

変数名	Twitter利用	VIF
共有欲求尺度	.115	1.093
賞賛獲得欲求尺度	-.031	1.083
拒否回避欲求尺度	.164 *	1.032
一般的信頼尺度	-.033	1.036
R ²	.036	

** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$

ii 共有欲求が高いほど実生活で知り合いでないフォロー数・フォロワー数が多い (表 2)

表 2 は実生活でも知り合いであるフォロー数 (フォローr) と、実生活では知り合いでないフォロー数 (フォローnr) を目的変数とした重回帰分析の結果を示しています。

…自分の興味・関心のあることを気軽に共有したい人ほど既存の知り合いにとどまらず、Twitter を通してより多くの人とつながりを持つようとする傾向があると考えられます。

iii 賞賛獲得欲求が高い人ほどフォロー・フォロワーともに実生活で知り合いの人が多く、知り合いでない人が少ない (表 2)

表 2 に示されているように、賞賛獲得欲求は知り合いのフォロワー数に対して正の、知り合いでないフォロワー数に対して負の効果がみられました。

…この結果から、賞賛を得たい人は、Twitter を知り合いからの反応を期待している可能性があります。これからのより詳細な分析で明らかにしていくつもりです。

表2 フォローr・フォロワーr・フォローnr・フォロワーnrについての各説明変数の標準化係数

変数名	フォローr	VIF	フォローnr	VIF	フォロワーr	VIF	フォロワーnr	VIF
共有欲求	.018	1.093	.139 *	1.093	.000	1.093	.205 *	1.093
賞賛獲得欲求尺度	.090 *	1.083	-.143 *	1.083	.155 *	1.083	-.258 **	1.083
拒否回避欲求尺度	.069	1.032	.025	1.032	.110	1.032	.026	1.032
一般的信頼尺度	-.014	1.036	-.019	1.036	-.015	1.036	.016	1.036
R ²	.016 +		.030		.041		.085	

** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$

引き続き、詳細な分析を行う予定です。

この研究についてご質問がある方、また詳細な学術的結果を知りたい方は、下記の連絡先までご遠慮なくお問い合わせください。ご協力ありがとうございました。

b110238@hiroshima-u.ac.jp

引用文献

小島 弥生・太田 恵子・菅原 健介 (2003) 賞賛獲得欲求・拒否回避欲求尺度の試み 性格心理学研究, 11, 86-98

山岸 俊男・小見山 尚 (1995) 信頼の意味と構造 INSS JOURNAL, 2, 42-44